赤十第令

月

発

室行号度

和

年

池

小

職

員

池 区防災訓 練 金管・ カラガ発表 サ カー バ スケッ

・トボ

ル

交流

とせ小をん学

会試で校

を合し球

行でた技

赤 披カ池 露ラ区 し一防 まガ災 しし訓 たい。部で金 の金 演管 演ド いました。
発揮する場として、なが、練習してきたこと大会」は実施できませた。

い発が大

技部

を

°つ動ス年 ウ



### ラー ガ 本 也

`が運

すんりのたいで技フてう る練、始゜ときをォレ大今 習うめで不な披しま舞年 としれにも安い露ムい台は にかすを し見 さました 皆で楽し ら練しなが演ニつい 、 演技を があ

あなにきたきのしと部イ り機見たでてよたな活ル今 が会てこ す本う をもと 。当なそて開のは 、いらを練に発のし始影コ 心だう皆習良表中まが響口 き貴さしかがでい九でナ 重んてっでこま月

がっ スケッ

ポでまししもたしますいまー。 `差果 て思年を今ではざん、 て思年を今ではざん、 いいはしで負惜い きま優てもけしまあだます勝い悔てくしりさ

°私 たち が サ

### 力 部 解江

で誇学つ二まよでたんか すら校た連しり声 °な自正 すら校た連しり声 と覇た絆を交時信直 思に。が掛流にがこ まなれ まなが が り ん勝 てく でてしる られたか やれたか ま矯 う 合しそ

しいも年見五張てたて続し心は学

**`**\



たに笑のて年っ

す。よい小い子るち

うっ学

年生 校外学 꾑 東 Ш 動 物

袁

## 原杏

梨

かゾ私く大め私 らウがりきては いかは見しく見ゾ めたまてまウ ずアし しを 。 らジたびたは しア。っ。じ

ウ で す。だ 行 きた

### **年** 期 の 活 動

r

ボ

ı

部

白井

お

ع

ラまをる とんこ しせ しがと昨 こた。「とと、 `は年 最で度 `今上きと ソて無で級ま同 りけはまか組へーき理き生せじ

くた配いる いな顔赤も生て私ででと にど赤 いな顔赤も生て私してことなれたでるで池らのいたすき思こなれれりもS こなれ池 、達姿がそりすらが施O にぱ校来にを頑しのがも でO 5 のことを頑張れてきるかどう、他などの、進めてきないとうが、卒業に向けた。「侍ソーレた。「侍ソーレた。「侍ソーレた。「けんだった」とを業に向けるのできないという。

W



# 寺さ

なんくい赤ま かもはあ色し私 がざりを見っていた。つはは山寺でもあって、たったった。つけたのでものできた。 つつまかはた くてたえざぎつ だたではりんの さつす大は色か いの<sup>°</sup>き二でざ °きみくしはり れな、ゆねを いさおるは見

### 未 来を 0 付につ 61

力申閲庭ま付来 をし覧にすをを昨 "や拓今 お出がお 願く難伝更めくのいだ。 いだしえ新 いさいしごHは代 たいごまとP次の 。家すに上号高 ご庭。メでか騰 まご庭 す理はHlのらを °解担Pル掲紙受 任上で載でけ、 にで全との 協おの家し配未

### 二年生 田丁 た h け h

## 足さん 矢野正

なきはをつ りれ光見て人 まいっせ 気 みまんだ 思たしが、ラ わいたピ ずで゜ン 、そク いとのの たてババと

くもララ言

# 車屋さん

た空にうわた 。気あでせ。自 転 気を入れて見せてると全部でニューブである、チューブでもとかがになった。店長さんが 親をるす。 切入 店で すぜ とが百あう て いタ台るに うイ ももあ れもヤあのり まののるもま しに中そ合し